

静岡県の

木



もくせい

鳥



さんこうちょう

花



つつじ

ひとりは万人のため  万人はひとりのために



 一般社団法人 静岡県労働者福祉協議会
〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1 E-mail: rofukukyo@mx1.s-cnet.ne.jp
☎054-221-6241 FAX 054-273-3110

ホームページ
<http://plaza3.dws.ne.jp/~scn00855/>

ブログ
<http://blog.goo.ne.jp/s-rofukyo>




労福協

「連帯」と「協同」でつくる 安心・共生の福祉社会をつくろう



理事長 吉岡 秀規

終戦から19年後の1964年に静岡県労働者福祉協議会は設立されました。高度経済成長の入口に立ったこの年には東京オリンピックも開催され人々の心に自信が芽生えてきました。2度のオイルショックやプラザ合意による急激な円高にも耐えて日本経済はひたすら右肩上がりの成長を続け、いつしか世界の頂点に達するところまで登りつめました。

しかしバブル崩壊により状況は一変します。長引く不況に加えて、東日本大震災と福島原発事故により、営々と築き上げてきた日本人の財産や自信や誇りなどが失われてしまいました。

そんな中であって私たちは2010年、先人から引き継いできた運動をさらに強化発展させるために組織を「一般社団法人」に改組いたしました。これにより社会的な信用度を高め、行政はもちろんのこと、より広範な諸団体の皆様とも連携することが可能となりました。

創立50周年に当たる2014年、私たちは未来への指針として創業の原点に立ち返る決意と確認をいたしました。それは「助け合い・支え合い」の原点であります。このガイドブックにはそうした私たちの思いがいっぱい詰まっております。ぜひ手に取ってお読みいただき、皆様のご理解を願えれば幸いです。

労福協のシンボルマークについて



中央労福協では、1981年に労福協のシンボルマークを全国で公募し、同年7月に決定しました。このマークは「人」という漢字をデザイン化したもので、簡潔で親しみやすく、中の輪は人と人の「和」を表しています。

“労福協”って何？

一般社団法人静岡県労働者福祉協議会（略称：県労福協）は、賀茂から湖西まで県内22の地区労福協、労働団体と加入者組織、ろうきん・全労済など労働者福祉に関わる事業団体で構成する勤労者福祉活動のための県中央組織です。各構成団体・組織とは、いわゆる縦型の一体的組織ではなく、ゆるやかな協議体組織となっています。運営は各団体・組織ごとに定めた会費によってまかなわれています。全国中央組織として労働者福祉中央協議会（略称：中央労福協）があります。

“県労福協”って何をやっているの？

県労福協は、「連帯・協同」でつくる安心・共生の福祉社会をめざして、中央労福協がすすめる幅広い立場からの政策提言や社会運動を推進しています。また構成団体・組織と連絡・調整をはかりながら、県内の行政・自治体・弁護士会・司法書士会・NPO・勤労者福祉共済会などとも連携し、反貧困・多重債務・消費者保護・暮らし何でも相談・被災者支援・ワークライフバランス・事業団体育成・人材育成支援など、未組織勤労者や市民県民の福祉につながる活動を行っています。

【静岡県労福協基本理念】

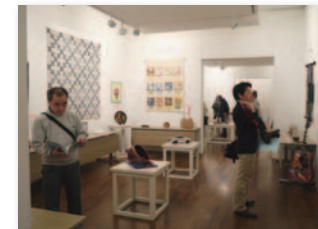
労働者の福祉要求の実現を通じて、労働者家族の生活向上と安定をはかり、真に平和で豊かな暮らしを保証する社会を創る。

【県労福協の使命（MISSION）】

- 1 社会的運動と政策制度の実現**
反貧困・多重債務問題・消費者保護運動・環境保全・食の安全・防災など
- 2 勤労者の生活支援**
LSC活動、就労支援、未組織勤労者、退職者支援、勤労者共済会支援など
- 3 労働者自主福祉事業の育成**
事業団体利用促進と支援、人材育成、役立資金活用、国内・海外交流など



マネートラブルにかつ！



勤労者総合美術展



フードバンクふじのくに設立総会



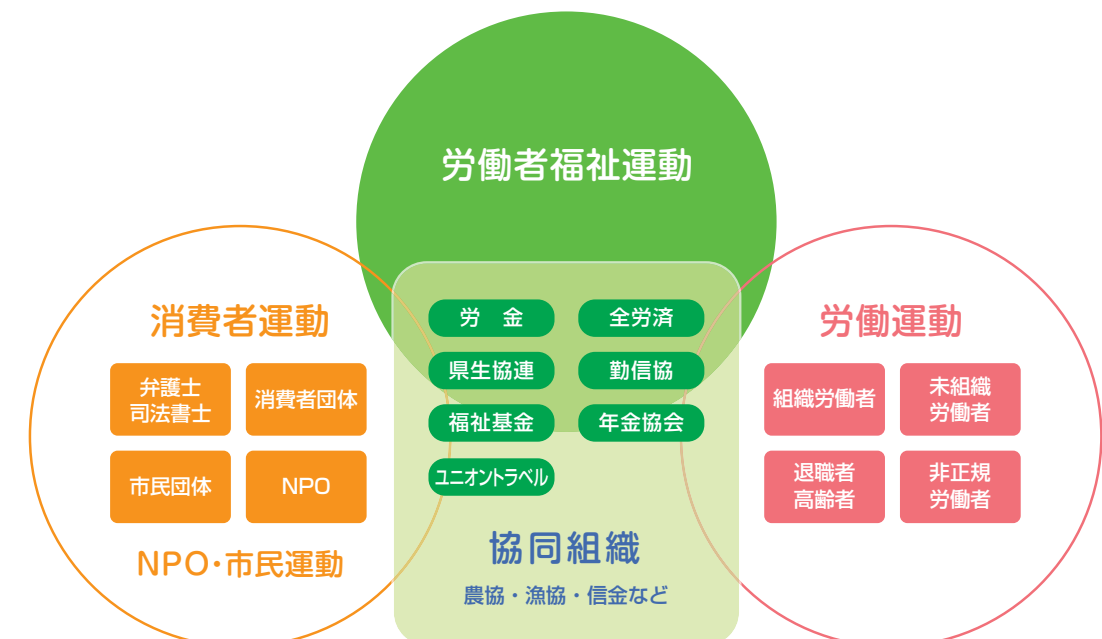
県知事へ要望書提出



創立50周年祝賀会

※地域役立資金は、静岡労金の会員が協働で生み出した果実を静岡の勤労者自主福祉運動の推進に役立てるために創設した資金

労福協運動のポジショニング



労福協のあゆみ

中央労福協の発足

1949年

戦後の食料・生活物資不足の中、労務加配米の増配、作業衣服の確保、木炭の払い下げなどの要求をかかげて闘ってきた。各単産や総同盟、産別会議、全労連、日協によって「労務者用物資対策中央連絡協議会（中央物対協）」が結成された。

1950年

中央物対協を「福祉対策中央協議会」と改め、単産および単産の上位組織の枠を超え、広く労働者福祉活動の前進をはかる組織とした。（今日の中央労福協の前進として発足した。）

1964年

「労働者福祉中央協議会」（中央労福協）と改称し、労働組合と協同事業団体が統一した組織体として今日に至る。

静岡県労福協の発足

1950年

中央の情勢に呼応して、「静岡県福祉対策協議会」結成の動き。

1953年

「福対協準備会」を設置。

1957年

所得税法改正により、「福対協準備会」を発展的に解散した。

1958年

中央における労働者福祉強化の動向を受けて、県評、全労、労金、労済の代表者の間で県労福協を結成する気運が高まった。

1964年

静岡地区に始まり県下28地区労福協が結成されたのを受けて、同年11月に念願の「県労福協」が結成された。

1966年

県労政課の主催で行われていた「静岡県労働文化祭」が、県からの委託事業として開催することになる。

1969年

志太榛原地域を皮切りに、地区労福協活動の自主自決体制の確立をめざした地域労福協活動が展開される。

1978年

国際的な視野を広める取組みから、第一次友好訪中団を派遣する。

1985年

労福協、労働組合、福祉事業団体の強い要望と静岡県の協力により、労働者福祉運動の拠点として勤労者総合会館（労政会館）が完成する。

2004年

2004年6月、県労福協結成40周年を祝う記念式典が行われた。

2006年

連合静岡、静岡県労金、全労済県本部、県労福協の4団体が主体となり、「ライフサポートセンターしずおか」を設立した。

2010年

第48回定期総会にて法人化を承認、2010年6月10日に正式名称「一般社団法人静岡県労働者福祉協議会」に改組した。

2012年

第50回定期総会で役員改選を行い、理事長に吉岡秀規氏を選任。2012国際協同組合年・静岡県実行委員会に参画し諸活動参加。

2014年

6月創立50周年の祝賀会を開催した。



戦後初のメーデー（宮城前広場）



日本協同組合同盟創立総会



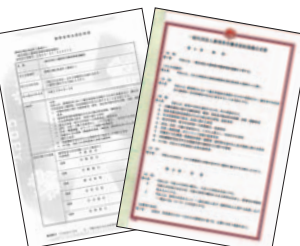
県労福協結成総会（熱海ホテル万代）



1985年 勤労者総合会館 竣工



2004年6月 結成40周年記念式典



2010年6月 定款・法人登記証明書



50周年記念事業で作成したDVD

県労福協の組織

働く者を取り巻く課題が拡大し重層化する中、労福協の運動や事業を展開するには、更に県労福協の社会的責任や信用が必要となっていることから2010年6月“一般社団法人”となりました。

【2014年度～2015年度 県労福協理事会役員】

役 職	氏 名	選出母体
理 事 長	吉 岡 秀 規	静岡県労働者福祉協議会
副理事長	中 西 清 文	連合静岡
副理事長	古 川 正 明	静岡県労働金庫
副理事長	佐 竹 功	全労済静岡県本部
副理事長	吉 田 敬 哲	静岡県生活協同組合連合会
専務理事	金 指 敦 之	静岡県労働者福祉協議会
理 事	増 田 隆	静岡県労働者福祉基金協会
理 事	石 塚 智 明	静岡県勤労者信用基金協会
理 事	山 本 一 彰	沼津地域労働者福祉協議会
理 事	大 石 雅 邦	静岡地域労働者福祉協議会
理 事	武 藤 憲 司	西遠地域労働者福祉協議会
監 事	西 山 延 正	富士地域労働者福祉協議会
監 事	中 村 洋	志太榛原地域労働者福祉協議会
監 事	鳥 居 勤	中東遠地域労働者福祉協議会



県労福協理事会



県労福協幹事会

幹事会の構成（2014年6月現在）

- 地区労福協（22名） …… 県下全22地区より各1名
- 連合静岡（6名） …… 県教組、電機連合、UAゼンセンなど6組織
- 県勤協連（1名）
- 加入者組織（3名） …… LSC友の会、県退福協、労金グリーン友の会
- 事業団体（7名） …… ろうきん、全労済、県生協連など7名

【会員（34団体・組織）】

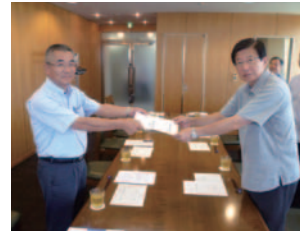
地区 労福協 （22）	賀茂地区労福協
	伊東熱海地区労福協
	沼津地区労福協
	裾野地区労福協
	北駿地区労福協
	三島地区労福協
	田方地区労福協
	富士地区労福協
	富士宮地区労福協
	清水地区労福協
	静岡地区労福協
	志太地区労福協
	島田榛北地区労福協
	榛南地区労福協
	掛川地区労福協
	小笠南地区労福協
	袋井地区労福協
	磐田地区労福協
	浜松地区労福協
	引佐地区労福協
	浜北天竜北遠地区労福協
	湖西地区労福協
労働団体	連合静岡
福祉事業 団体等 （11）	県ろうきん
	全労済県本部
	県生協連
	県勤信協
	福祉基金協会
	年金福祉協会
	ユニオントラベル
労働者組織	県勤協連
	LSC友の会
	県退職者福祉協議会
ろうきんグリーン友の会	

静岡県労福協の活動紹介

人と暮らし、環境と優しい福祉社会の実現

対県要請

勤労者の生活に対する不安を解消し、安心・安全な暮らしの向上に向け、労働者の声、事業団体からの要望をまとめ、静岡県へ行政要望を提出しています。



川勝県知事へ要請

福祉事業団体(関係団体)間の連絡・調整機能

事業団体責任者会議を定期的に開催して、情報交換や課題について協議しています。

静岡県勤労者総合美術展

静岡県の勤労者が余暇を活用して、健全な文化に親しむ機会を広げ、心の豊かさを求め、ゆとりある生活の充実に寄与することを目的として開催しています。この美術展は県から委託を受けて実施しています。



勤労者総合美術展表彰式



勤労者総合美術展風景

中国浙江省総工会との国際交流

国際交流事業として中国浙江省総工会と相互訪問を実施しています。



中国浙江省総工会特別訪日団

地域役立資金

「地域役立資金」は、県下の勤労者自主福祉運動の推進、発展に寄与する活動に役立てることを目的として、ろうきんの会員の懇意のもとに創設された資金です。このうち、地域・地区拠点づくり、人づくりに係わる資金を県労福協で管理・運用しています。

セーフティネット奨学金

家計が急変して就学・進学が困難になった方への奨学金制度です。(会員・組合員専用)



教育ローン利子補給制度

静岡ろうきんの教育ローンを利用する方で一定の条件を満たす方が対象です。



ロッキー奨学金

静岡県内に在住もしくは企業などに勤務する勤労者の子弟で経済的支援が必要と認められる学生で、いずれの学生も各大学から推薦いただいた優秀な方達が奨学金の対象者です。



ロッキー奨学金授与式



地域・地区拠点

勤労者が生涯にわたって集い支え合う活動展開をしていくためには、いつでも気軽に立ち寄ることができる「場づくり」とその活用、立ち寄り・集うための「きっかけ(理由)」づくり、将来を担う若い世代への支援が大切であると考え地域・地区拠点を整備してきました。

労福協だより

労福協役員、労組職場委員をはじめ勤労市民に向けた勤労者福祉運動の情報誌として、勤労者福祉運動浸透の一助とするために年4回発行しています。(15,000部)(労福協だよりは「しずおかeブックス」にも掲載されています。)



ホームページ

県労福協の情報発信ツールで労福協の基本理念、歴史や活動報告を掲載しています。



「静岡県労福協」ホームページ



「しずおかeブックス」ホームページ

ブログ

労福協だよりは、年4回発行であるため、ブログはその間を補完するものとしています。また、労福協をより身近に感じていただくために地区労福協事務員などが順番で作成しています。



「静岡県労福協」ブログ

県内の行政・自治体・弁護士会・司法書士会・NPO・勤労者福祉共済会・フードバンクふじのくになどとともに連携して行う事業



クレサラ県民会議



勤労者福祉共済会連絡会議



国際協同組合年植樹



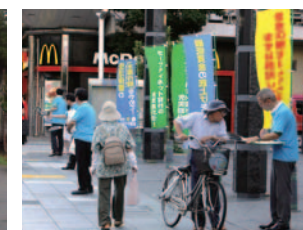
消費者問題ネットワークしずおか



フードバンクふじのくにに設立準備委員会



災害ボランティア派遣



反貧困キャラバン



ゲートキーパー委嘱式

静岡県労働者福祉協議会基本理念

労働者福祉運動とは「労働者の福祉要求の実現をつうじて、
労働者家族の生活向上と安定をはかり、
真に平和で豊かなくらしを保障する社会を創る」ことを基本理念とした。
この福祉運動は、労働運動の一環としておこなわれる、
労働者の自発的、自主的な要求、活動を指しており、
それはつねに労働者の団結した力を主体としてすすめられていくものである。

役割

- ① 地域地区労福協への支援：地域・地区労福協の充実に向けた取り組み
- ② 静岡県への行政要望：370万県民・160万人勤労者が安心して暮らせる社会実現を目指す
- ③ 福祉事業団体（関係団体）の連絡・調整機能：福祉事業団体等と連携・強化して福祉の充実を図る
- ④ 静岡県の委託業務：勤労者総合美術展を開催する
- ⑤ 国際交流事業：中国浙江省総工会と民間レベルの交流を行う
- ⑥ 地域役立資金管理・運用：地域役立資金を適切に管理して運用を行う

地区労福協の組織



地区と地域のエリア区分

西部ブロック				中部ブロック				東部ブロック							
西遠地域労福協		中東遠地域労福協		志太榛原地域労福協		静岡地域労福協		富士地域労福協		沼津地域労福協				伊豆地域労福協	
浜松市労福協		中遠地域	東遠地域	志太榛原地域労福協	静岡地域労福協	清水地区労福協	伊豆地域労福協	富士宮地区労福協	富士地区労福協	田方地区労福協	三島地区労福協	北駿地区労福協	裾野地区労福協	沼津地区労福協	伊東熱海地区労福協
湖西地区労福協	浜北天竜北遠地区労福協	引佐地区労福協	浜松地区労福協												
湖西地区労福協	浜北天竜北遠地区労福協	引佐地区労福協	浜松地区労福協	志太榛原地域労福協	静岡地域労福協	清水地区労福協	伊豆地域労福協	富士宮地区労福協	富士地区労福協	田方地区労福協	三島地区労福協	北駿地区労福協	裾野地区労福協	沼津地区労福協	伊東熱海地区労福協
湖西地区労福協	浜北天竜北遠地区労福協	引佐地区労福協	浜松地区労福協	志太榛原地域労福協	静岡地域労福協	清水地区労福協	伊豆地域労福協	富士宮地区労福協	富士地区労福協	田方地区労福協	三島地区労福協	北駿地区労福協	裾野地区労福協	沼津地区労福協	伊東熱海地区労福協

地域・地区活動の4分野（活動例）

教育研修	社会貢献	文化・レクリエーション	行政要望など
文化講演会 生活支援・応援・見直し 各種研修会・学習会 視察研修会 勤労者美術展	清掃活動 若者出会い支援 健康イベント チャリティーバザー 法律・年金相談 ニート相談支援	ソフトボール大会 ボウリング大会 フェスティバル ファミリーメーデー 親子ふれあい映画会 チャリティーゴルフ	協調融資制度 首長懇談会・要望 役員・委員の派遣 まつり運営参加 議員懇談会 勤労者共済会支援

地域・地区拠点の紹介

県内に広がる福祉の拠点

地域役立資金の「地域拠点づくり資金」を活用して
県内5地域と10地区の拠点が整備され、
自主福祉運動の前進が図れました。

① 湖西地区



湖西地区事務所
湖西市鷺津5244 桐屋ビル1F
☎053-576-2002

⑥ 榛南地区



榛南地区事務所
榛原郡吉田町片岡617-1
☎0548-28-7833

② 西遠地域



西遠地域事務所
浜松市東区上西町1270 友愛会館内
☎053-465-1155

⑦ 島田榛北地区



島田榛北地区事務所
島田市本通4-3-9島活会館2階
☎0547-36-7371

③ 中東遠地域



中東遠地域事務所
磐田市見付3070-1 エミネス加茂川IA-205
☎0538-32-2706

④ 袋井地区



袋井地区事務所
袋井市田町2-1-10 丸共ビル2階
☎0538-45-1221

⑤ 小笠南地区



小笠南地区事務所
掛川市大坂526
☎0537-28-9566

⑨ 富士地域



富士地域事務所
富士市永田町1-124-2
明治安田生命富士ビル1階
☎0545-57-6029

⑩ 沼津地域



沼津地域事務所
沼津市新宿町9-6 佐藤ビル1階
☎055-921-1400

⑪ 三島地区



三島地区事務所
三島市大宮町3-19-14 白井ビル201号室
☎055-955-7670

⑫ 裾野地区



裾野地区事務所
裾野市佐野90-8 ビューコート久保 式番館102
☎055-919-2996

⑬ 北駿地区



北駿地区事務所
御殿場市二枚橋239 ワタナベビル2F
☎0550-70-9915

⑭ 田方地区



田方地区事務所
伊豆の国市田京143-3 東陽企画ビル2F
☎0558-99-9800

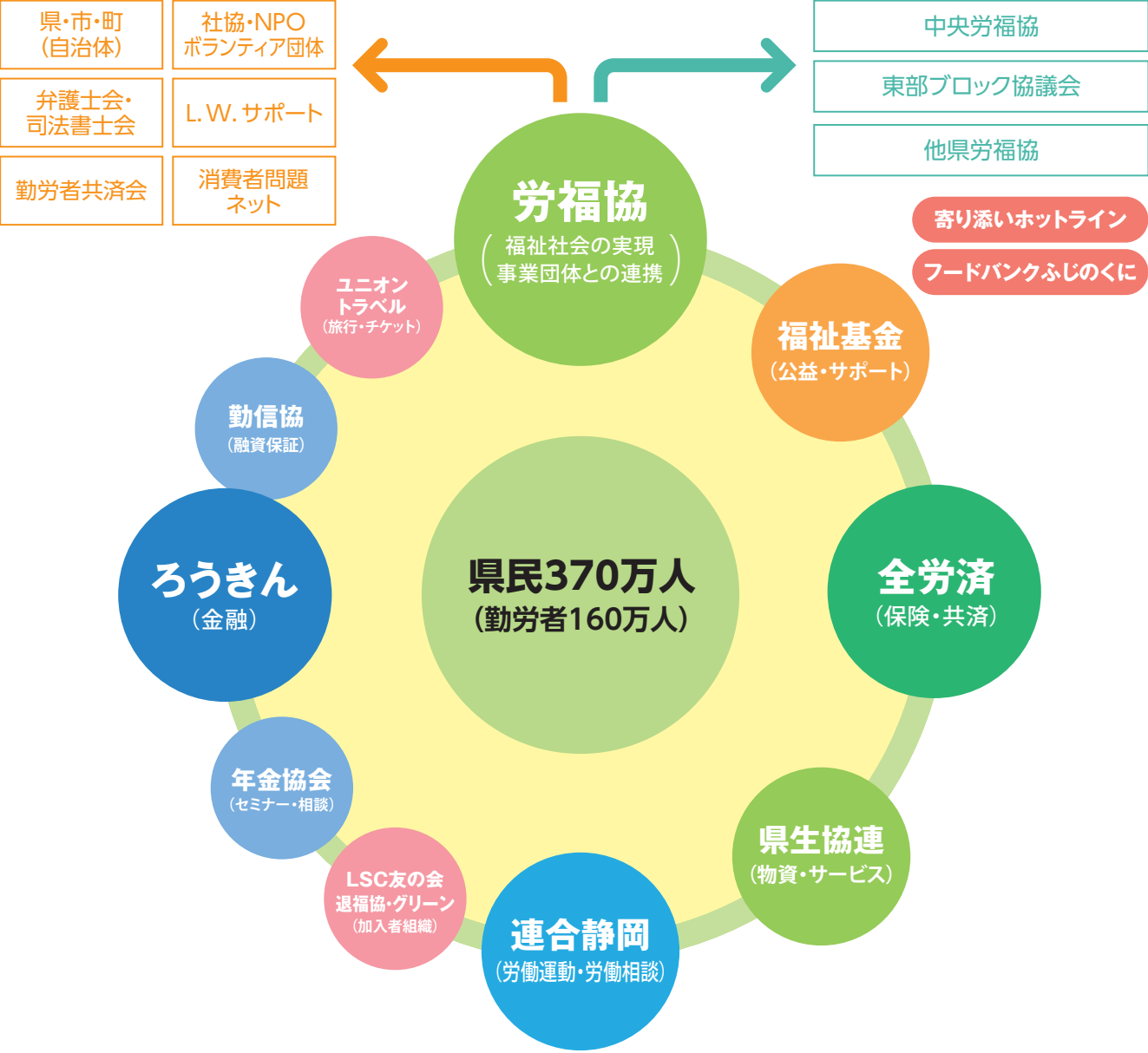
⑮ 伊東熱海地区



伊東熱海地区事務所
伊東市松川町5-13 内山ビル202
☎0557-36-2655



事業団体の紹介



運動の原則

- 1 勤労者福祉運動は、職場や地域における行動の歴史の中から生み出されたものである。我々はこれらの運動の成果をさらに発展させるため職場や地域における人と人の有機的関わりを強めるものである。
- 2 我々は県民(国民)の幅広い要求の中から、社会的・組織的に解決すべき普遍的課題に挑戦し、県民(国民)の経済的・文化的満足の拡大を図るものである。
- 3 我々は、地方自治体や国、産業や企業に対し、影響力を強化するとともに、自らの活動として、協同事業団体の活動を県民(国民)の中に浸透させ、発展を図るものである。
- 4 協同事業団体の活動は、勤労者福祉活動の一環として進められるものであり、その活動を通して県民(国民)の生活向上に貢献することは勿論のこと、県民(国民)の必要を満たすために解決すべき諸課題に幅広く取り組んでいくものである。
- 5 我々は、福祉活動の分野における国内の連帯活動を進め、全国的な福祉の向上の役割を担うとともに、国際的にも困難な課題を抱えている人々の状況を克服するために貢献するものである。

連帯と協同の力

県労福協自体の力は脆弱であり、単独ではその目標を中々達成することはできません。そこで県労福協では地区労福協をはじめ労働団体・福祉事業団体等と常に連携し、自治体・県弁護士会・県司法書士会・NPO等のご支援も得ながら県内勤労者の福祉増進や生活安定と経済的・社会的地位の向上の為の活動を展開しています。お互いが連帯・協同することで一つの組織では不可能な事、一人ではできないことでも大きな力を発揮することができます。

団体名[正式名]／事業概要	ロゴ	電話番号／HPアドレス
ろうきん [静岡県労働金庫] 働く人達がつくれた唯一の福祉金融機関。営利を目的としない、働く人を応援する金融機関です。		☎054-221-6100 http://shizuoka.rokin.or.jp
全労済 [全労済静岡県本部] 働く人達がつくれた共済(保険)事業。営利を目的とせず、生命・医療・自動車・火災などの共済を実施しています。		☎054-254-1180 http://www.zenrosai.coop/shizuoka
県生協連 [静岡県生活協同組合連合会] 組合員相互扶助の精神に基づき、地域・職場・学園で、消費・共済・医療の事業を非営利で行っている県内生協の連合会です。		☎054-253-5987 http://www.5b.biglobe.ne.jp/~kenren/
勤信協 [(-財)静岡県勤労者信用基金協会] 未組織勤労者が融資を受けられるように設立した信用保証機関です。住宅資金などの融資信用保証を行います。		☎054-221-6262 http://plaza3.dws.ne.jp/~scn00855/kinshinkyoindex.html
年金協会 [(-財)静岡県年金福祉協会] 厚生・国民年金保険被保険者の福祉向上に資することを目的とする機関です。債権回収や年金制度の啓発を行っています。		☎054-251-2766 http://www.shizuokananken.or.jp/
福祉基金(ALWF) [(公財)静岡県労働者福祉基金協会] 労金や全労済などからの寄附を基金として、福祉の為の、調査研究・教育教養・社会貢献・相談などの事業を展開する「公益財団法人」です。		☎054-273-3000 http://www.alwf.or.jp/
ユニオントラベル [(株)静岡ユニオントラベル] 団体旅行、イベントチケット・クオカード販売、損害保険取扱など、どなたでも利用できます。		☎054-203-6877 http://www.union-travel.co.jp

*静岡ワークライフ研究所は、1990年に設立し調査研究などの事業を進めてきましたが、2007年4月1日に(財)静岡県労働者福祉基金協会と統合し事業継承いたしました。
*静岡県勤労者福祉振興会は、1992年に設立し高齢社会に対応する支援事業を進めてきましたが、2008年5月に(財)静岡県労働者福祉基金協会に統合し事業継承いたしました。
*静岡県住宅生協は、1963年に設立し勤労者のために良質で低廉な住まいの供給をしてきましたが、事業不振により2006年2月3日に43年間の業務を終了いたしました。
*静岡県財形事業協会は、1983年に設立し財形貯蓄制度の転貸融資事業を進めてきましたが、公益法人改革の規制により2011年6月30日に解散いたしました。
*「ライフサポートセンターしずおか」は、2006年9月に設立し、何でも相談や生きがいづくりのセミナーなどを実施してきましたが2012年3月に静岡県労働者福祉基金協会に統合し事業継承いたしました。